

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2014年1月24日

No.12

## コスト削減ではなく、収入拡大に向けた体制の構築を！ ～「平成26年ダイヤ改正及び平成25年度末効率化」に対する団体交渉～

中央本部は1月14日から20日まで「平成26年ダイヤ改正及び平成25年度末効率化に対する申し入れ（申第7号）」に基づく団体交渉を行いました。我々の要求に基づいて交渉を積み重ねた結果、一部の項目について前進が図られました。確認した内容は以下の通りです。

### 【基本項目】

- ①ダイヤ改正における収入効果は6億5千万円だが、改正による減収が5千万円発生する。減収分は、荷主へ別ルートの特典などを行なうことで挽回する。
- ②組織改正後も業務が混在している支店・営業所の業務については、業務区分を再度明確にする。
- ③安定輸送を確保するため、平成26年度以降新形式機関車の全般検査の次年度送りは行わない。
- ④ダイヤ改正において設定した輸送力は確保する。四半期ごとに輸送計画について中央本部に提示する。

### 【営業関係】

- ①百済タの積卸業務一元化については、時期を見て進めることを確認。
- ②信号担当者の養成が早急な課題となっていることから、運転士養成と同じ問題意識を持って育成を行なう。教育については中央研修センター駅業務教育グループが中心となって行なう。
- ③積付検査時分の確保について、サンプル職場を選定して検査時分が十分に確保されているか実態調査を行なう。
- ④営業フロント、支店・営業所、営業サポートセンターの業務区分がI T-FRENS導入当初から変わっており、異常時を中心に混乱が生じていることから、新たな業務区分を提示したうえで検証を行なう。

### 【運転関係】

- ①運転士の要員需給に関する将来展望については、新中期経営計画の中で議論を行なう。
- ②乗務員の労働環境を改善するため、富士駅構内入換はEF200からEF66に変更する。

### 【検修関係】

- ①全国の緊急出動体制の範囲を年度内に提示する。
- ②老朽化した機関車の置換えについては、DD51はDF200の低騒音型を検討中であり、EF64はEF210及びEH200への置換えを検討している。EF81はEF510に置き換える。九州のED76はEF81へ置き換えるが、その後については今後検討する。
- ③白票が入った貨車が運用を続けていることは営業面で重大な問題であり、速やかに解放するよう努力する。また白票の取扱い方については再度周知するための書面を發出して周知を図る。

今ダイヤ改正は、新中期経営計画のスタートラインとなる重要なものとなります。中央本部は職場から出された問題の解決と、組合版ロードマップの具体的な実現を目指して交渉を進めてきました。今後も職場の現実を無視したコスト削減を進める会社の施策を認めず、職場の様々な問題の解決に向けて取り組みます。交渉の詳細については議事録を後日送付します。

以上